

令和元年度 第4回桐生市総合戦略推進委員会 議事要旨

○日 時 令和元年11月20日(水) 午後6時30分～午後7時45分

○場 所 桐生市総合福祉センター 101会議室

○出席者

【委員】 委員長：桐生市総合計画審議会会長職経験者 宝田 恭之
委員：桐生商店連盟協同組合 副理事長 茂木 理亨
桐生市農業委員会 会長 鎌塚 大作
桐生広域森林組合 総括課長 栗原 和人
群馬県桐生みどり振興局 局長 大嶋 亘
桐生商業高等学校 教諭 進路指導主事 関口 恵美
桐生信用金庫 専務理事 佐藤 敏彦
足利銀行 桐生支店長 海老沢 智
群馬銀行 桐生支店長 小金沢 啓人
(代理出席：副支店長 赤尾 憲司)
桐生公共職業安定所 所長 小林 悟
桐生市区長連絡協議会 第3区長 茂木 新司
桐生市社会福祉協議会 常務理事 前原 太
きりゅう市民活動推進ネットワーク 代表 近藤 圭子
NPO法人キッズバレイ 代表理事 星野 麻実
桐生青年会議所 専務理事 深澤 佑太
2015年からの生活交通をつくる会 会長 佐羽 宏之
<欠席者>
副委員長：桐生商工会議所 会頭 山口 正夫
桐生刺繍商工業協同組合 理事長 村田 欽也
群馬大学理工学部 教授 板橋 英之
(株)桐生タイムス社 事業推進室長 小澤 義明
桐生市PTA連絡協議会 会長 野村 篤
桐生市医師会 鈴木 康郎
桐生市婦人団体連絡協議会 会員 齋藤 優子

【桐生市】 市長 荒木 恵司
副市長 森山 享大
<事務局>
桐生市総合政策部長 和佐田 直樹
桐生市総合政策部企画課長 田島 規宏
桐生市総合政策部総合戦略推進担当係長 金子 秀明
桐生市総合政策部総合戦略推進担当 馬場 秀穂
桐生市総合政策部総合戦略推進担当 伊藤 美和子

【報道関係】 1社

○会議内容

1 開 会

- ・過半数以上の出席により、会議が成立することを案内

2 挨拶

- ・市長挨拶

3 議 題

- (1) 第2期 桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について
- (2) 桐生市人口ビジョン 改訂版（案）について
- (3) そ の 他

○議事概要

- (1) 第2期 桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

- ・資料1、2に基づき、事務局から説明

委員長	今回の会議において示された基本目標4における数値目標「桐生市は住み続け たくなる生活の場としての住環境が整っている。」についての市民実感度」につい て、2024年度の目標値が上向きの矢印表記となっているが、どのような趣旨である か。
事務局	本指標については、市が2年に1度実施する市民の声アンケートに基づくもので あり、桐生市第六次総合計画との整合性を図り、年々市民実感度を向上していくこ とを目標としたものである。なお、その他の指標においても、アンケート調査に基 づく指標でその数値を向上していくことを目標とした場合は、上向きの矢印表記と している。
委員	資料1の(1)安全・安心で住みやすい環境づくりにおける「1. 地域防災力の向 上」の回答において、「避難所の備蓄食糧や毛布などの物資については、自助の考 え方を強く啓発し、“自分の命は自分で守る”という防災意識の向上を図ってまい りたい。」とあるが、自主避難所以外の避難所、また避難指示の場合も含め、備蓄食 糧や毛布などの物資は自分で持っていけないといけないという主旨のものである か。
事務局	すべての場合でその対応を求めるものではなく、行政としても対応の改善につい て検討を行う。そうした中で行政の行う備蓄食糧や毛布などの物資の用意には限界 があることから、避難をする場合にはなるべく身の回りのものや食糧など、持参で きるものは持ってきてもらうことや、避難が難しくなる前に避難していただくこ と、そうした自助の考えを啓発してまいりたいという主旨で記載したものである。

委員長	それでは、他に意見がなければ、第2期 桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)については、資料1のとおり本推進委員会における最終案としてよろしいか。
異議なし(全委員が挙手)	
委員長	それでは、そのようにさせていただきます。

(2) 桐生市人口ビジョン 改訂版(案)について

・資料1、3に基づき、事務局から説明

委員長	特に意見がなければ、桐生市人口ビジョン 改訂版(案)については、資料3のとおり本推進委員会における最終案としてよろしいか。
異議なし(全委員が挙手)	
委員長	それでは、そのようにさせていただきます。

(3) その他

委員	<p>市民から要望を聞くことも大事であるが、その要望を実現させるための市民の役割があることを同時に理解してもらう必要があるという発言を前回会議で行った。</p> <p>そのことに関連するが、先日の地方紙に、「桐生・みどり未来創生会議」において、公共交通に関する意見交換を行ったとの内容が掲載されていた。</p> <p>桐生市の公共交通に関する委員会の委員長を拝命しているので、この件に関して触れさせてもらおうと、公共交通を維持していくための資源は枯渇方向に向かっており、公共交通を取り巻く環境はますます厳しくなっている。</p> <p>実際の会議の場でのやり取りは分からないが、記事には委員の意見を取りまとめていくといったことが書いてある。意見や要望を聞くのは簡単だが、実現に向けてどうしたら良いかを委員に聞き返していかないと、自助・共助・公助の中の、公助に頼る市民を増やすことに繋がると考える。</p> <p>今後人口ビジョンで示すような人口減少が続き、総合戦略に掲げた施策を推進していくに当たっては、市長の目指す自助・共助・公助の考えを進めて行かないとまちが成り立たないと考える。一方通行の意見で、夢を語るような会議ばかりを行うと、会議で言ったのに市が全然実現しないといった批判にもつながることも考えられるので、委員の方からは実現に向けてどうしたら良いかといったことも含めた意見を伺うことが重要である。</p>
----	---

委員	<p>人口ビジョンを見ると、前回よりもさらに人口減少等の状況が悪くなっており、見通しも厳しくなっているのではないかと思います。</p> <p>このため、総合戦略の推進に当たっては、よりスピード感を持ち、実効性のある取り組みを実施していかなければならないと考える。</p> <p>国や県から指針が示され、それに追従して桐生市がどうするかといった流れで行動するのではなく、桐生独自の取り組みを行うことが重要であると考えます。</p> <p>我々も知恵を出し合い、行政ももちろん市民みんなで協力していくことが必要である。</p>
委員長	<p>みんなの力を合わせることで、大事である。力を合わせることで、何かができるかと考える。</p>
委員	<p>人口ビジョンに市民アンケートの結果が掲載されているが、どうしたら市民の望むことが反映できるのかを考えると、行政だけでなく、みんなが力を合わせて頑張らなければならないと考える。</p> <p>そのためには、戦略ができて終わりではなく、見える化し、自分たちなら何ができるかといったことが分かりやすくなるよう、工夫した広報が必要である。</p>
委員長	<p>ここにいる委員みんなが桐生の応援団であるので、心強いと思う。</p>
市長	<p>貴重な意見をいただきありがたい。まさにそのとおりであると考えます。人口ビジョンの改訂版において、具体的な数値が示されているので、取り組むべき課題も明確に指摘ができる。</p> <p>例えば、流出する人口の自治体を見ると太田市と伊勢崎市が圧倒的に多く、アンケートを見ると桐生市に働く場所がないという意見が多いが、太田市や伊勢崎市に行かなくても、桐生市で対応できる企業はあるのではないかと考えられる。</p> <p>また、女性は一度桐生市から離れると戻ってくる人数が少ないというデータがはっきりしている。では、何故、桐生市で結婚や子育てをしようとする人数は少ないのか。その理由を調査することにより、人口動態の図において新たな指摘ができるようになると考える。</p> <p>総合計画は宝田委員長の下、行政案をただ踏襲するのではなく、一人一人の委員からの意見を踏まえ作り上げたものとなっており、実行計画においてはそうした意見を反映した施策を打ち出すことが行政には求められていると思う。そのような中で、総合計画と総合戦略を推進していくに当たり、行政だけに頼るのではなく、市民、桐生市が一丸となって取り組んでいこうといった意見をいただいたことは、非常にありがたいことである。</p> <p>先ほど災害への対応についての意見があったが、公助の限界がある中で、自らの命は自ら守ろうという“自助”の意識の啓蒙、こうしたこともこれからしっかり実</p>

	<p>施していかなければならない。また、将来に向けた可能性としてSDGsをはじめ、シェアリングシティの取り組みなど、新しい分野についてももしっかり組み入れていくとともに、中心市街地の方々との意見交換も継続的に実施したいと考えている。</p> <p>本会議は本日で一旦は終了する予定であるが、みなさんが桐生市に対して持っている意見があれば是非いただきたいと考えており、場合によっては有識者や関係者を集めたミニ討論会のようなものを開催し、将来に向けた協議を行ってまいりたいと考えているので、引き続き宝田委員長を始めみなさんの力添えをお願いさせていただきたい。</p>
委員長	<p>是非とも、そのようにお願いしたい。</p> <p>総合戦略と総合計画の策定に携わってきたが、次の社会を創っていくには共同企画、共同実行が必要である。ほとんどの自治体で共同企画ができていない中、桐生ではこれだけのステークホルダーが集まり、共同企画まではできたと思うが、もう一步、共同実行のところまで進むことが必要である。</p> <p>そうすると、桐生全体が動いているということがみんなに分かってくると思うので、市長にはそのためのリーダーシップをお願いしたい。</p> <p>もう1点、少し観点を変えるが、総合戦略に“促進”や“活性化”といった言葉が出てくるが、人口ビジョンで示される現状を踏まえると、ほとんどが反対の結果になっている。</p> <p>しかしながら、私はそうした状況でも桐生にいたら楽しい生活ができるのではないかと思う。確かに人口は減少していくが、それでも桐生にいたら凄く幸福感のある生活ができるといったことを、考えても良いのではないかと思う。</p> <p>例え話的に言うならば、私の両親は戦時下の大変な時期に恋愛、結婚をしたが、話を聞くとそれでも十分幸せそうであった。そうした環境でも若い価値観があったからではないかと思う。</p> <p>桐生だけではなく日本全体がこれから大変な状況になるだろうが、その中でも幸せというのは、まったくゼロになるというわけではなく、色々なことが改善されていけばもっと良くなることとなる。桐生はダメだという顔をすると、みんながいなくなってしまう。「今だってすごいぞ、これからはもっと改善する。でも今だって、十分幸せな生活ができるぞ」といったところまで訴えたいと思う。それだけのものを桐生は持っていると思う。そういうふうには日本社会が考えていかなければ、みんながネガティブなことばかり言っていたら、これからの人たちが可哀そうである。今後、桐生はもっと良くなるといった展望を描くことが重要である。</p> <p>人生は一度きりしかなく、人生を大いに楽しむことが何より大事であり、楽しまない時間を私は1秒でも過ごしたくない。これからの子どもにはそうした桐生だったら楽しめるんだといった展望を示していくことが重要であると思うので、市長にはお願いしたい。桐生の応援団がこれだけあれば色々なことができると思う。</p>

以上

4 その他

- ・宝田委員長から 11 月 23 日開催の「未来の環境～食と健康の集い～スローモビリティを活用した「ゆっくりズムのまち桐生」の宣言に向けて」のシンポジウムと 11 月 30 日に企画するキャンドルディナーについて紹介

5 閉会